

平成28年度 第3回大阪府立吹田高等学校学校協議会 記録

- 日 時 平成29年3月2日（木）午後7時～午後8時30分
- 場 所 大阪府立吹田高等学校 会議室（本館2F）
- テーマ 平成28年度学校経営計画の達成状況と自己評価について
- 出席者（敬称略、委員は50音順）
 - 会長 白井 孝雄（大阪薫英女学院中学校・高等学校校長）
 - 委員 上田 裕彦（吹田市立第二中学校校長）
 - 清川 香織（本校後援会会長）
 - 西條 裕之（本校PTA会長）
 - 辻 良夫（藤が丘上自治会会長）
 - 土井 実（鳳志会副会長）
 - 校長 浅田 明子

○事務局

手島 肇（教頭）、植木 邦博（事務長）、磯原 健志（首席）、大西 英之（首席）

■委員から出された主な意見等

- これまでは生徒指導など、なかなか効果が上がらないといった嘆きもあったが、今年度の自己評価はほとんど二重丸がついており、大きく変わっている。
- 遅刻数については年々減少してきており、平成26年度は3,506件、平成27年度は3,208件、今年は2月末で2,764件とほぼ目標を達成する見込み。非常にご努力いただいている結果が表れている。
- 進学実績について当初の目的は十分すぎる位達成されており、非常にうれしい限り。このうち普通クラスの生徒も含まれているとのこと。今現在ということで、結果待ちの生徒もあり、さらに上乘せが期待できる等、力を入れていただいている結果が数字に表れている。
- 四年制大学への進学率は34%位ということだが、全体として進学の割合は増えてきているということか。
- 進学クラスができ4年が経ち、生徒の意識が目に見えて変わっていると感じられるということですね。
- クラブ加入率をあげるため、クラブ紹介の冊子をPTAで作らせていただいている。もうすぐ出来上がるので、新入生向けのクラブ紹介の際に利用していただきたい。
- 地域からみて、生徒の風紀、態度はよくなっている。今年の卒業式も昨年とは違う良さがあった。生徒の服装にしても揃っていた。先生方の指導が行き届いていると思う。
- 教育というのは効果が表れるのに時間がかかるといわれるが、数値目標を年度当初に掲げ、それを一年間の中で達成され、非常に驚いている。それぞれの先生が一所懸命取り組まれ、達成されていることが、生徒指導面にもつながるし、進学面にもつながると思う。そのべ

ースになるのが、やはり学校の「安心安全」。例えば、遅刻指導など、先生が頑張っている姿を保護者が評価し、子供も評価している。見守られているという安心感の中で行われていることが、いろんな数字に結びついていると思う。

- これまでは、例えば、遅刻件数についても 3000 件という目標を設定しながら、今年も達成できなかったということが多かったが、この資料を見せていただくとほとんどの項目が良くなっており、すごいと思う。
- 目標の設定については、生徒ができる目標の設定が大事。例えば、遅刻数 3,000 件を減らそうとしたとき、3,000 件というのでは漠然としており、生徒個人では何をすればいいのか、目標はあるもののアプローチの方法がわからない。今回、クラス毎、あるいは月別に何回という目標を設定したが、これであれば目標を達成したかがすぐにわかる。
- 自己評価のうち目標を上回った項目が 27 項目と非常に高い数字となっており、先生のご努力に感謝している。目標に届かなかった△の項目が 4 項目あるが、そのうち「進路のてびき」及び「朝ガクベースプランの作成」の 2 項目については、先生方自身のご努力で丸にも二重丸にもなる項目ではと思う。もうひと頑張りしていただいて、二重丸になるよう先生方の奮闘をお願いします。